

沖縄国際ハブクラスター取組について

平成28年3月8日
内閣府沖縄総合事務局
経済産業部商務通商課

沖縄国際ハブクラスター 推進体制

沖縄総合事務局経済産業部では、アジア市場に向けたビジネスを展開する企業を支援する産学金官ネットワーク「沖縄国際ハブクラスター」を形成（平成26年10月）。クラスターマネージャー等のサポートの下、企業間連携による研究会や広域ビジネスマッチング等の活動を通じて、市場開拓や事業化に向けた取組を推進。

沖縄国際ハブクラスター推進会議

- | | | | |
|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄経済同友会 代表幹事 ・(株)沖縄県物産公社 代表取締役社長 ・(株)JCC 代表取締役会長 ・(株)新垣通商 代表取締役 ・えんグループ 代表 ・金秀バイオ(株) 代表取締役社長 ・(株)ANA Cargo 沖縄統括室長 ・沖縄ヤマト運輸(株) 代表取締役社長 ・琉球海運(株) 代表取締役社長 ・(株)アイディーズ 代表取締役社長 ・琉球大学 理事・副学長 ・沖縄振興開発金融公庫 融資第一部長 | <ul style="list-style-type: none"> 玉城 義昭（議長） 島袋 芳敬 洲辺 俊紀 新垣 旬子 又吉 真由美 宮城 幹夫 高濱 剛司 赤嶺 真一 山城 博美 山川 朝賢 外間 登美子 宮城 健三 | <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県銀行協会 会長 ・那覇港管理組合常勤副管理者 ・中城湾新港地区協議会会長 ・沖縄県産業振興公社 専務理事 ・沖縄県商工労働部長 ・内閣府沖縄総合事務局経済産業部長 [オブザーバー] ・内閣府沖縄総合事務局農林水産部長 ・同上 開発建設部長 ・同上 運輸部長 ・JETRO沖縄 ・中小機構沖縄事務所 | <ul style="list-style-type: none"> 金城 棟啓 金城 勉 名護 宏雄 屋比久 盛敏 下地 明和 牧野 守邦 遠藤 順也 小平田 浩司 坪井 史憲 石田 達也 三澤 孝 |
|---|--|--|---|

内閣府
沖縄総合事務局

委託

事務局：南西地域産業活性化センター（NIAC）
クラスターマネージャー 1 名、コーディネーター 2 名

沖縄海外展開支援機関 ネットワーク （18 機関）



➤ 支援機関

沖縄県産業振興公社、JETRO沖縄、
中小機構沖縄事務所、JICA沖縄国際
センター、OCVB、沖縄県商工会
議所連合会、沖縄県商工会連合会、
沖縄県工業連合会、沖縄県中小企業
団体中央会、沖縄県発明協会、沖縄
県よろず支援拠点

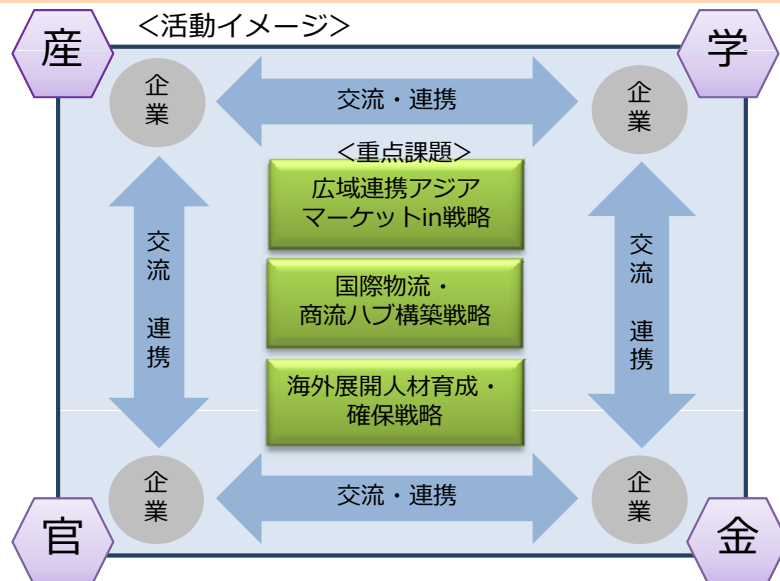
➤ 金融機関

琉球銀行、沖縄銀行、沖縄海邦銀行、
商工組合中央金庫、沖縄振興開発金
融公庫

➤ 行政

沖縄県、内閣府沖縄総合事務局

連携・支援



＜目指す方向性＞ アジア経済圏に向けたビジネス拡大

＜具体的な活動例＞

個別テーマ
中核研究会

フォーラム
セミナー開催

企業間及び
広域ビジネス
マッチング

支援制度を
活用した
プロジェクト
メイク

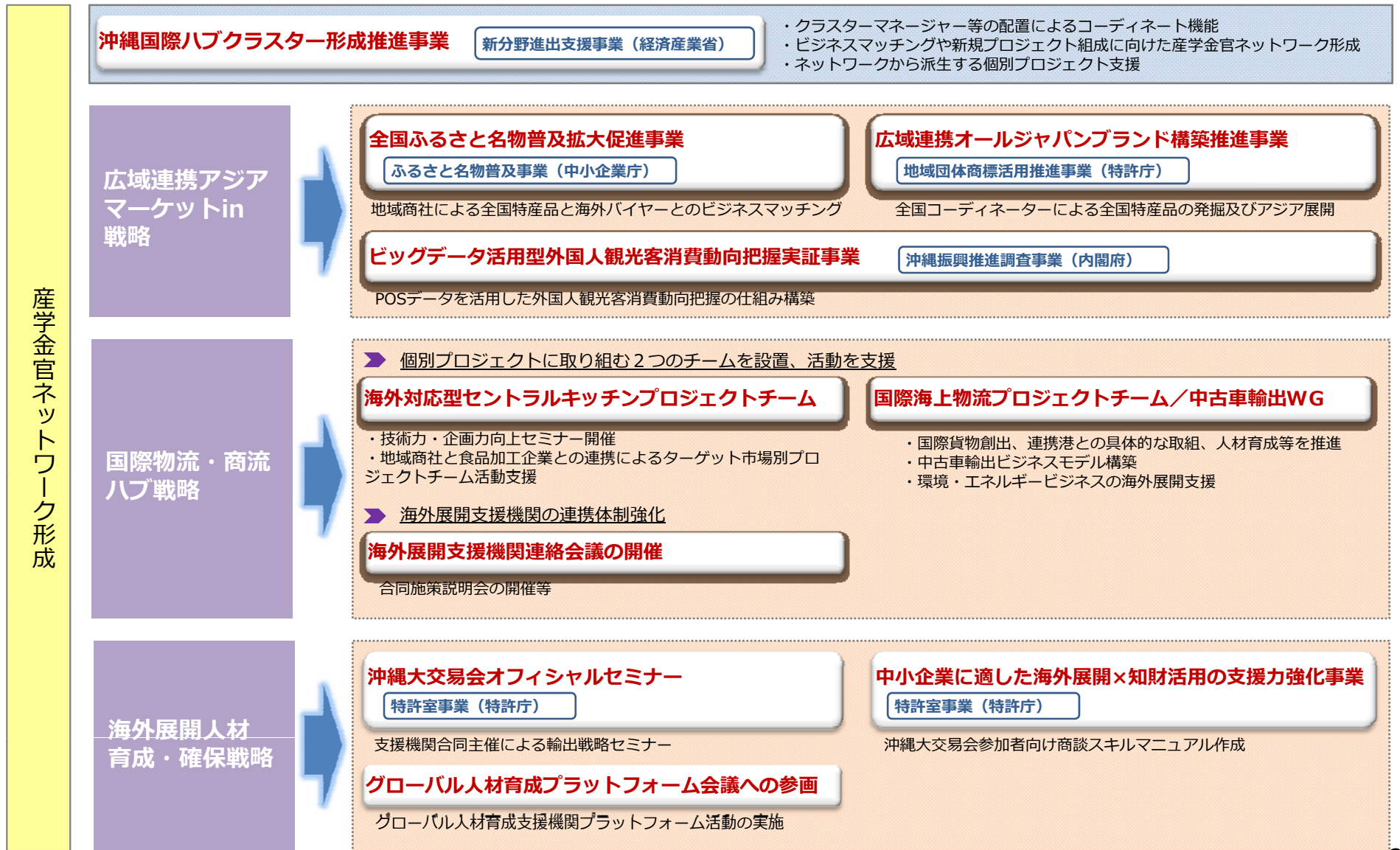
個別企業
対応

＜期待される効果＞

- ①ビジネスリソース（ノウハウ等）融合による起業化、事業化
- ②制度要望（規制緩和等）の提案
- ③市場開拓に向けた実証事業展開
- ④人材育成支援の効果的運用（人材育成プラットフォーム構築及び支援施策パッケージ化）
- ⑤広域・産地間連携の推進（会議開催やミッション団派遣等含む）

沖縄国際ハブクラスター 平成27年度活動内容

3つの戦略に基づき、広域連携の強化と県内食品製造業の高付加価値化及び国際海上物流活性化、グローバル人材育成等、民間企業が主体となった取組をサポート。



国際海上物流PT

沖縄における国際貨物の創出・拡大や新たな輸送モデルの構築、国際海上物流にかかる人材育成等をテーマとして、様々な専門的な観点から共通課題を議論し、その解決に向けた検討を実施していくため、「国際海上物流PT」を設置。

《メンバー》

沖縄ヤマト運輸、あんしん、琉球物流、琉球海運、南西海運、オウティケイ、リュクス、オリオンビル、沖縄県物産公社、新垣通商、琉球大学、那覇港管理組合、中城湾新港地区協議会、沖縄県工業連合会、沖縄県国際物流商業課、沖縄県港湾課、うるま市、沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課、同局経済産業部商務通商課

《これまでの取組》

◆ 意見交換会

日時：平成27年9月14日（月）

検討内容：

- ・沖縄の物流の現状と問題点について
- ・課題解決に向けた今後の取組に関する検討

◆ 沖縄国際海上物流人材育成セミナー

日時：平成28年2月15日（月）

テーマ：外船社代理店（Sole Agent）の業務とは
～沖縄の国際物流拠点としての可能性～

講師：セブン シーズ シッピング(株) 営業統括部長 神子 正光氏

◆ 沖縄国際物流モデル合同説明会 & 個別相談会

日時：平成28年2月16日（火）

主催：沖縄県、沖縄国際ハブクラスター、那覇港管理組合、
沖縄県商港会議所連合会

《今後の取組》

- ・個別テーマ毎のWG開催
- ・国際海上物流人材育成セミナーの定期開催

中古車輸出WG

沖縄からの中古車輸出に係る課題を解決し、ビジネスモデル構築を検討するため、県内外関係業者が参画する「中古車輸出WG」を設置。

《メンバー》

オリックス自動車、三井倉庫、沖縄ココハマタイヤ、シリウス・コンサルティング、津梁貿易、リュクス、沖縄振興開発金融公庫、沖縄県国際物流商業課、沖縄県港湾課、那覇港管理組合、沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課、同局経済産業部商務通商課

《これまでの取組》

◆ 意見交換会

日時：平成27年5月19日（火）

検討内容：

- ・沖縄発中古車輸出に係る現状と課題の整理
- ・ビジネスモデル構築に関する今後の方策検討

◆ 第1回WG

日時：平成27年9月1日（火）

検討内容：

- ・課題解決に向けた取組検討
- ・ビジネスモデル構築に関する検討

◆ 第2回WG

日時：平成28年1月18日（月）

検討内容：

- ・NZ向け輸出可能性調査報告
- ・実証輸出検討

《関連する取組》

- ・中古車輸出に係る基礎調査（沖縄県）
- ・台湾トランシップによるタンザニア向け実証輸出事業（沖縄県）
- ・那覇港輸出貨物増大促進事業（荷主対象）社会実験（重点貨物として中古車等の輸出を支援）（那覇港管理組合）